

科目名 (Subject)	労働法研究 (基本) (Labor Law (Basic))		
単位数 (Credits)	2 単位	開講時期	後 期
担当教員名 (Name)	國武 英生 (Hideo Kunitake)	研究室番号 (Office)	512
Office Hours			
<p><b>1. 授業目的・方法 (Course objective and method)</b>  本授業は、労働法が直面している基礎的な課題を1つ取り上げ、受講生とともに調査・研究することを目的とする。テーマは受講生と相談の上で選択し、関係法令、判例、実例、諸外国の法制度などを素材として、受講生の調査・プレゼンテーションをもとに質疑応答形式で進めていく。  授業の際には、①事例を使って具体的なイメージをもとに議論する、②日本や諸外国の制度や実態を踏まえてより広く深い思考を促す、③受講生と対話を行い主体的に考える力を養う、といった点に重きを置きたい。</p> <p><b>2. 授業内容 (Course contents)</b>  今年度において具体的に想定しているのは、次の課題である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 労働法の適用対象をめぐる基礎的課題</li> <li>2 労働契約論の歴史的発展をめぐる基礎的課題</li> <li>3 労働契約の意思理論をめぐる基礎的課題</li> </ol> <p><b>3. 使用教材 (Teaching materials)</b>  テーマ選択時に指定する。</p> <p><b>4. 成績評価の方法 (Grading)</b>  下記の要素に基づき成績評価を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への参加度 (事例, 討論, 調査) 80%</li> <li>・ホームワーク (事前課題の提出) 20%</li> </ul> <p><b>5. 成績評価の基準 (Grading Criteria)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・労働法の諸問題に深い関心を持ち、与えられた課題に積極的に取り組むことができるか</li> <li>・与えられた課題について、口頭や文章でわかりやすくプレゼンテーションできるか</li> <li>・他者と協力して課題に取り組み、議論をしながら理解を深めることができるか</li> <li>・法的な問題点を抽出し、自らの思考・判断のプロセス・結論を文章で明確に示すことができるか</li> </ul> <p>上記基準について特に秀でている者を「秀」、上記基準を十分に満たす者を「優」、上記基準を一応満たす者を「良」、上記基準をぎりぎり満たす者を「可」、上記基準を満たさない者を「不可」とする。</p> <p><b>6. 履修上の注意事項 (Remarks)</b>  労働法の基本については学習済みであることが望ましい。</p>			